

—— 歴史紹介



|       |      |       |       |       |
|-------|------|-------|-------|-------|
| 1768年 | 1856 | 1907年 | 1917  | 1923年 |
| 1929年 |      | 1957年 | 1967年 | 2017年 |
|       |      |       | 1967年 | 2018年 |

上野の松坂屋が  
江戸に上野へ移転した  
（松坂屋の  
江戸に上野へ移転した）



1768年 上野の松坂屋を買収、江戸へ進出

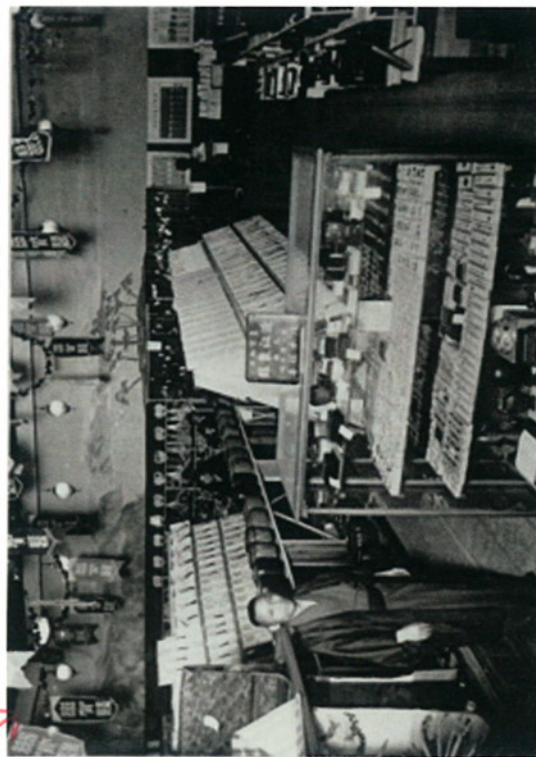
上野の松坂屋を買収して「上野」と改め、江戸へ進出したのは  
1768年（明和5年）のことです。

尾張徳川家、加賀前田家の御用を  
つとめ、東叡山諸寺の法衣を独占  
販売するなど世間の信望も厚く、  
江戸の名所として浮世絵にも描か  
れました。

字物でいい  
④は半井村の  
せいのぼり

1856年  
安政4年  
安政4年  
上野店

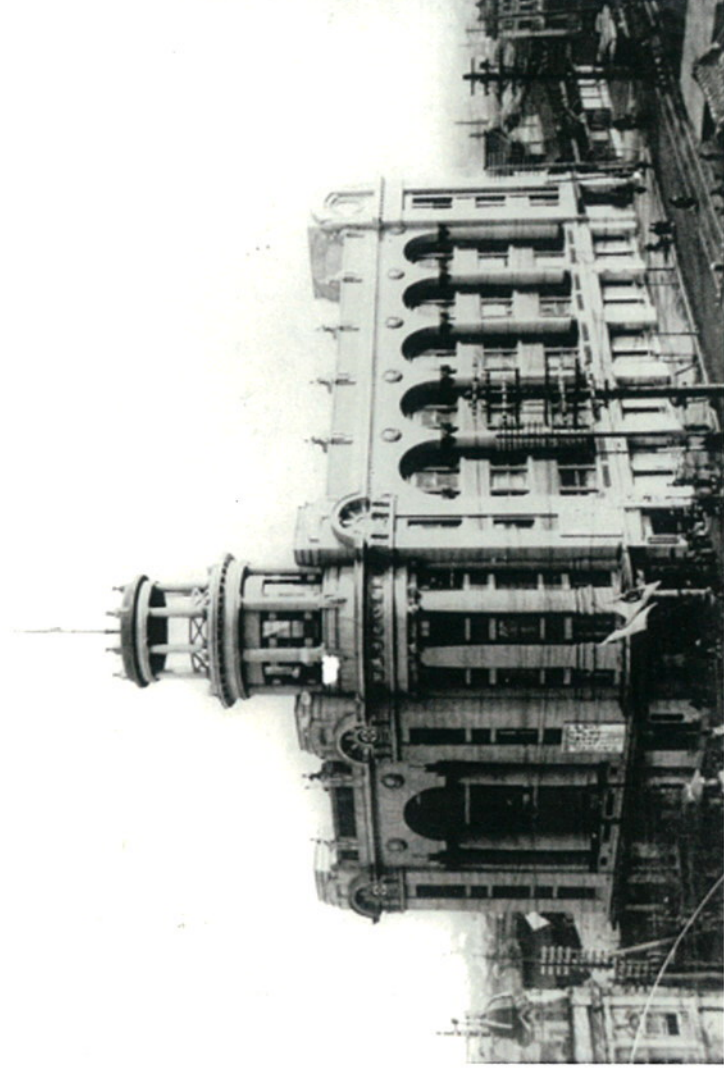
上野店に  
なるといふ  
なるといふ



松坂屋から

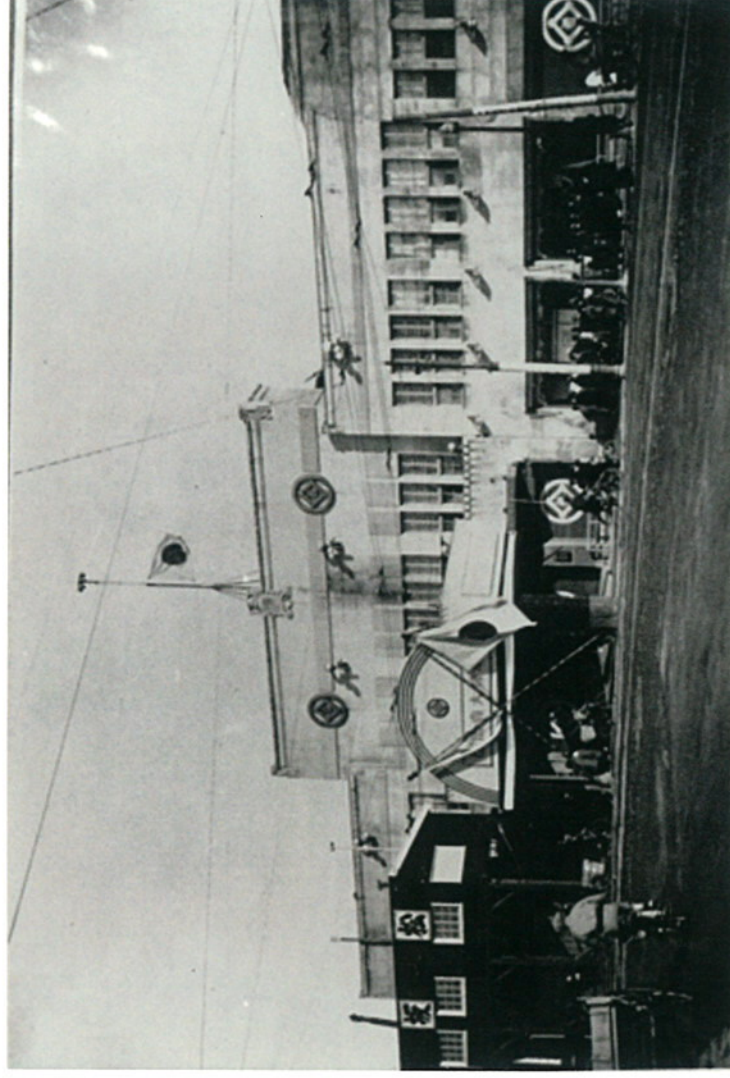
## 1907年 陳列式立売りへ

1907（明治40）年4月1日、江戸時  
代から続いた座売りを陳列式立売  
りに改め、呉服に加え雑貨、家庭  
用品なども扱い始めました。ショ  
ーウィンドーを巡らし、女性社員  
を初めて採用したのもこの年で  
す。



## 7 1916年 新本館を建築が完成!

1916（大正5）年に、洋風4階建ての新本館が竣工しました。翌1917（大正6）年に第2期工事が完成して、延べ6,600㎡（2,000坪）になった店舗は、帝都の名建築の一つに数えられました。



## 1923年 震災から復興

上野店は、1923（大正12）年9月1日の関東大震災の翌日に類焼、灰燼に帰しました。ただちに再建に取りかかり、1ヵ月後に仮営業所、2ヵ月後には仮店舗を立ち上げました（このとき初めて土足入場を実施）。



## 1929年 本館を新築

1929（昭和4）年に建築したルネサンス風の荘厳華麗な新館は、上野広小路の都市風景をも一変させたといわれました。電話に民間初の自動交換機を採用するなど、設備も時代の最先端を行くものでした。



### 1957年 南館を増築

1957（昭和32）年に南館を増築。  
この地下3階、地上7階の画期的な  
増床で、売場面積は本館と合わせ  
て、35,000㎡に達しました。

1967年 上野店200周年

（画）はエレベーターと同一ものを  
使用。

「いっしょに松坂屋」として、

200年という大記念日の年。  
高層ビル第2号の「いっしょに松坂屋」の  
中、附設エレベーターは「いっしょに松坂屋」の  
毎日新聞社）は、いっしょに松坂屋で、キタ150人の  
入場券を集めた。

2007年

上野店全館リニューアル  
グランドオープン

2007年（平成19）年、「Reconnection（リコネクション）」をテーマに  
リニューアル。上野店の全館のリニューアルに、愛蔵版の  
地味な新しいイメージを築くというテーマを、上野店の  
イメージと「上野」を組み合わせる。



2017年 <sup>トウ</sup>旧南館跡地に上野フロンティアタワーが  
開業 <sup>完成</sup>

「シタマチ・フロント」としての街  
開きとなりました。

2017 (平成29)年11月、

上野フロンティアタワーに  
「10112ヤ」「TOHOシネマズ」  
が仲間入り。



2018年 4月5日

おかげさまで250周年。これまでも、そしてこれからも。